

会報

第318号

岩手県小学校長会
代表 佐藤 淳
事務局 TEL.019(623)8955
盛岡市紺屋町2の9
盛岡市勤労福祉会館2F
印刷 富士屋印刷所



この一年を振り返って

岩手県小学校長会会長 佐藤 淳

はじめに、この度の能登半島地震により被災された皆様
に哀悼の意とお見舞いを申し
上げます。

令和五年度の岩手県小学校
長会の活動は、会員である校
長先生方のご理解とご協力を
いただき、順調に事業等を推
進できておりますことに心か
ら感謝申し上げます。また、
県小学校長会の各種役員をお
引き受けいただき、会議への
出席や業務を進めていただい
ている校長先生方、各地区校
長会の役員を務め運営いただ
いている校長先生方にも重ね
て感謝申し上げます。

さて、今年度は、新型コロナ
ウイルス感染症の扱いが変
更となり多くの学校行事や対
外行事も行えるようになりま

した。また、学校公開研究会
や各教科等の研究団体による
大会等も開催され、コロナ禍
以前の教育活動が行えるよう
になってきました。一方で、
学校現場の現状を見ると、行
事等を行えるようになったも
の、そのための準備や対応
で教職員の多忙化が進む状況
や不登校や特別な支援を要す
る児童の増加に伴う対応に加
え、タブレットPCの効果的
な活用促進など、新たな学校
経営上の課題も顕著化しまし
た。また、教員不足の問題で
は、補充教員が配置されない
など学校経営の根幹を揺るが
す状況にも直面してしまし
た。

同時に、令和五年八月に出
された中央教育審議会緊急提

言に象徴されるように、教育
における大きな動きがあった
年でもありました。

こうした中、私たち校長は、
各校の状況を捉え、求められ
ている学校の役割を考慮しな
がら、今できることを考え、
様々な教育活動を再構築する
など、児童そして教職員を第
一に考えた学校経営を進めて
きました。これは、まさに正

解がない中で、どのように納
得解を生み出すかという極め
て困難な取組であったように
思います。そして、この過程
の中で、改めて、私たち校長
の力になっているものが校長
会のつながりや取組であった
と再認識する機会にもなりま
した。

今年度、開催された校長会
全国大会東京大会や東北大会
山形大会に参加された校長先
生方からは、他の自治体を含
む多くの学校経営に関わる取
組や教育行政を含む情報を得
ることができ、有意義であつ
たとの声を聴くことができました。

また、各地区校長会で行わ
れた研修会や研究大会でも、
優れた学校経営に学び合うと
ともに、悩みを共有し解決に
向けて組織的な取組を進める

など多くの成果があったこと
と思えます。私自身、今年度
前全連小会長である世田谷区
立下北沢小学校・校長・大学
弘一郎先生の話聞く機会が
あり、大学先生の「先生方を
励まし大事にする学校経営」
に深く感銘し、学校経営への
意欲を高めることができました。

こうしたことから、県小
学校長会で各部毎に進めてい
る事業、そして各地区校長会
で行われている事業一つ一つ
に意義があり、一つの学校・
地区にとどまらず、岩手県全
体の小学校教育に大きな貢献
をしていることを実感してい
ます。

次年度以降も学校現場を取
り巻く状況は、様々な困難さ
を伴うことが予想されます。
折しも、岩手県教育委員会が
策定した岩手県教育振興計画
が始まる初年度ともなりま
す。よって、これまで以上に、
校長会のつながりを大事にし
ながら、新たな時代の教育を
作り上げていきたいと思いま
す。今後も、小学校長会会員
の力を合わせてより良い岩手
の小学校教育を作り上げてい
くことを確認し、お礼とさせ
ていただきます。

祝 文部科学大臣表彰

岩手県小学校長会
会長 佐藤 淳 氏

文部科学省による令和五年
度教育者表彰式が、十一月
三十日に文部科学省講堂にお
いて挙行されました。

本県小学校からは、岩手県
小学校長会会長・佐藤淳氏
(盛岡市立仁王小学校長)が、
「長年にわたり、学校を主体
とした教育施策の推進や教職
員の指導力向上等に取り組
み、本県の教育振興に貢献し
ている」として表彰を受けら
れました。

佐藤会長は、今回の受賞に
ついて「岩手県小学校長会の
活動が評価されたものであ
り、代表して受け取って参り
ました。会員の皆様のご支
援とご協力で改めて感謝いた
します。今後も、子どもたち
の健やかな成長に向け、尽力
して参ります。」と話されて
いました。

会員一同、心からの祝意を
表したいと思えます。
誠に改めてとうございまし
た。

令和五年度 各部の活動報告

総務部

総務部は、本会全般に関わる企画・立案及び庶務に関する活動、東日本大震災対策活動等を行った。

一 総務部担当活動

① 理事会・評議員会

・本年度の組織構成等の確認

○第二回理事会(六月十二日)

・第六十一回総会の反省

・全連小、東北連小理事会報告

・東北連小山形大会、全連小第七十五周年記念式典、同記念誌、全連小東京大会について

○第三回理事会(九月十五日)

・全連小、東北連小関係報告、被災地訪問報告

・第五十九回岩手県小中学校長研究大会二戸大会について

○第四回理事会・第二回評議員会(十一月十七日)

・全連小、東北連小対策・教育課程調査研究報告

・全連小理事会、同東京大会報告

・東京電力福島第一原発・被災校視察報告

・令和五年度岩手県教育委員会への要望事項について

○第五回理事会・第三回評議員会(二月二十二日)

・全連小理事会、東北連小理事会報告

・令和五年度岩手県小学校長会収入・支出決算(中間)報告

・令和六年度行事予定

○総務部担当理事・地区事務局長合同会議

○第一回総務部担当理事・地区事務局長合同会議

・本年度の組織構成

・全連小大会、東北連小大会について

○第二回総務部担当理事・地区事務局長合同会議

・本会会務、中間期決算報告

・令和六年度行事予定

・令和六年度第六十二回総会開催関係依頼事項の伝達

○常任理事会

・年間十一回開催

・今年度の活動方針と計画に基づく実施計画、活動反省等の協議及び各部活動状況の共有

二 東日本大震災対策活動

○第一回(六月十二日)

・令和五年度東日本大震災対策特別委員会の計画

○第二回(十一月十七日)

・岩手大学教育学部教育実践・学校安全学研究開発センター

准教授本山敬祐先生による復興・防災に関する講演会
○第三回(二月二十二日)
・令和六年度被災地訪問計画、規約等についての協議
○常任理事による被災三地区視察及び地区校長会等との被災状況等の情報交換
○全連小理事会での被災地の状況説明
(総務部長 前川 岳詩)



被災地訪問 (大槌学園)

行財政部

行財政部は、本県の教育行政及び財政に関する調査並びに要望に関する活動を行ってきた。

一 行財政関係調査

① 県調査

「校長の給与等」「教職員の病休者と補充状況等」「学校経営における要望を必要とする事項」「教材費の予算」について実施。

② 全連小調査
「教職員定数改善等」「教育環境整備等」「教員養成」「働き方改革・処遇改善等」などについて実施し、全連小に回答。
二 要望(提言)活動
① 要望書の提出
前年度の要望項目について、次年度予算への具現化を図る目的から、県教育委員会を訪問し、要望。(七月二十八日)
会員からの調査結果をもとに「本県義務教育の充実振興について」をまとめ、県教育委員会を訪問し、提出。(十一月八日)
② 教育懇談会
合同中で、「義務教育」「人事・服務」「生徒指導」の諸課題について、県教育委員会と県中学校長会との意見交換。
(九月一日)

三 全連小対策委員会

「働き方改革の進捗状況と課題」「各地区の教員不足の状況と、教員の量の確保と質の向上の取組」をテーマに協議。
(十月三十日 東京都)

四 東北連小対策委員会

「各県における今年度の対策活動や要望活動の取組状況」「震災復興及び防災に係る人的措置、施設等の整備状況」、「働き方改革への取組状況」「教職を目指す若者が減少している状況を踏まえた対応」をテーマに協議。(十月十三日 山形県)

五 活動報告書

令和五年度行財政対策委員会

活動報告書を作成。
六 諸会議の開催
行財政対策委員会(五回)、行財政担当理事・地区行財政担当者・行財政対策委員会合同会議(二回)を開催。
(行財政部長 飯岡 竜太郎)

研修部

研修部は、学校経営の充実に寄与するため、教育課程、並びに各研究大会等に関する次のような活動を行ってきた。

一 会議の開催

・地区研修担当者会議二回
・調査研究特別委員会二回
・調査研究委員会 十回

二 調査研究活動

① 岩手県小学校長会関係

「校内研修の工夫・改善による教員の人材育成と学校教育の質の向上」を新しい研究テーマとして調査研究活動を行った。調査は、「校内研修の現状及び今後の工夫・改善点等について」「教員の人材育成について」の二点に重点を置いて調査項目を作成し、グループフォーラムにてアンケート調査を実施した。
本年度は、調査結果のまとめを行い、来年度は、調査結果に分析・考察を加え、県小・中学校長研究大会二戸大会において研究発表する予定である。

② 全国連合小学校長会関係

全連小の計画により、抽出校

に依頼し、調査を実施した。

三 研究大会

第六十三回東北連合小学校長会研究協議会山形大会（七月六～七日）に本県より百四十五名が参加した。「社会や地域の持続的発展に貢献できる人材の育成」をテーマとし、オリエンタルカーペット社長 渡辺博明氏による講演が行われた。第一分科会では、北上市立いわさき小学校亀谷琢校長が、第六分科会では、八幡平市立大更小学校高橋司校長が、和賀地区、岩手地区それぞれの校長会の研究実践について発表した。

第七十五回全国連合小学校長会研究協議会東京大会（十月十九～二十日）に、岩手県から三十名参加した。全体会の前に行われた全連小七十五周年記念式典において、全国連合小学校長会長感謝状贈呈が執り行われ、本県からは、五十周年以降に務められた県役員並びに県事務局が受賞した。全体会では、関西学院大学特別客員教授小西美穂氏とアース製薬㈱社長ハロルド・ジョージ・メイ氏による講演、そして、二人をシンポジストに㈱HLDラボ社長岡田大士郎氏がコーディネーターを務めたシンポジウムが行われた。十三の各分科会では、全国の校長が参集して対面での協議を行い、有意義な研修の場となった。（研修部長 中村 幸子）

広報・編集部

教育情報の提供並びに会報、会誌の編集、発行等に関する活動を行ってきた。

一 「会報」の発行

- ①第三一六号
- ・岩手県小学校長会総会
- ・地区校長会交流（盛岡地区）
- ・教育課題への対応（岩手地区）
- ・役員等紹介 他
- ②第三一七号
- ・東北連小山形大会
- ・地区校長会交流（紫波地区）
- ・教育課題への対応（花巻地区・遠野地区） 他
- ③第三一八号
- ・全連小七十五周年記念式典
- ・全連小東京大会
- ・各部活動報告
- ・令和六年度の主な大会
- ・地区交流（和賀地区） 他
- 二 「北奥」第六十号の発行
- 各地区から四十三名の会員に、「随筆・創作、教育実践、小論・提言、特集論文、復興の足跡」の執筆と、表紙デザインや挿絵の協力を得て発行した。
- 三 「小学校時報」への執筆
- ①六月号
- ・紺野好弘前県小学校長会長
- ②八月号
- ・藤原安生校長（本宮小）
- ③十月号
- ・渡辺浩公校長（陸高・小友小）

- ④十二月号
- ・佐々木伸也校長（戸田小）
- ⑤二月号
- ・和田英県小学校長会副会長（上田小）

四 全連小HPへの推薦

- ①学校紹介コーナー
- 新規として盛岡市立緑が丘小学校を推薦した。
- ②特色ある学校（復興関係）
- 新規として宮古市立山口小学校を推薦した。

五 教育研究シリーズ第六十一集

全学校における購読の推進を行った。なお、本県からは、北上市立笠松小学校が掲載されている。

六 特色ある研究校便覧

- ①令和四・五年度版
- ・各学校における購読の推進を行った。なお、本県からは、六校が紹介されている。（御所小、平泉小、世田小、双葉小、田老第一小、軽米小）
- ②令和六・七年度版
- ・特色ある研究校として六校を推薦した。
- （いわさき小、西の杜小、宮守小、真城小、有住小、宮古小）

七 全連小七十五周年記念誌

全学校における購読の推進を行った。

八 諸会議の開催

広報・編集専門委員会を五回、担当理事・地区広報担当者・専門委員の合同会議を二回開催した。

開催した。（広報・編集部長 藤原 安生）

生徒指導部

生徒指導の諸問題にかかる調査の実施及び児童の健全育成の推進を図るために、各地区小学校長会や県中学校長会と連携し、次の活動を行った。

一 会議の開催

- ①生徒指導担当理事・各地区生徒指導担当者・専門委員合同会議
- 第一回
- ・四月二十一日（金）
- ・年間活動計画の作成
- 第二回
- ・九月四日（月）
- ・調査結果の分析等
- ・各地区生徒指導の情報交換
- ②小・中生徒指導情報交換会
- ・九月四日（月）
- ・調査結果の中間報告等
- ・県教育委員会学校教育室生徒指導担当による講話
- 「生徒指導上の諸問題について」
- ③生徒指導専門委員会（五回）
- （専門委員五名を盛岡市小学校長会に委嘱）
- ・調査内容の決定
- ・調査結果の分析と考察
- ・調査結果のまとめと報告書の作成
- ・活動反省と次年度方針協議
- （調査項目及び内容の検討）

二 調査研究活動

- ①研究主題
- 「生徒指導の諸問題にかかる調査」
- （調査対象 令和四年度）
- ②調査方法
- ・県内全小学校長を対象にアンケート調査を実施。
- ③調査内容
- ・「いじめ」
- ・「不登校児童」
- ・「少年非行」
- ・「学級経営上の諸問題」
- ・「情報化」
- ・「児童虐待」
- ・「震災の影響」
- ・「新型コロナウイルスの影響」
- ④調査のまとめ
- ・調査研究内容を報告書にまとめ、年度末に配付。
- （生徒指導部長 川村 憲弘）



県教育委員会と県小・中学校長会との教育懇談会

全国連合小学校長会 七十五周年記念式典



全国連合小学校長会75周年記念式典の様子

全国連合小学校長会七十五周年記念式典が、令和五年十月十九日(木)に、東京国際フォーラムで行われた。式辞において、植村洋司全国連合小学校長会会長は、これまでの日本の歩みと共に多くの困難を乗り越え、歴史と伝

統を築いてきた全国連合小学校長会の発展に携わったすべての人へ感謝の意を表した。そして、七十五周年をゴールではなく、新たなスタートとしたいと述べるとともに、日本の小学校教育を預かる自負と使命を心し、子どもと学校

の未来に向かい、確かな判断力や決断力を発揮し、信頼できる学校の実現に努めることを誓った。また、挨拶

わせて常に改善を図ってきたためであり、関係者の尽力と努力の賜物であると感謝の言葉を表した。そして、文部科学省としても、子ども一人一人の豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の担い手として必要な資質や能力を育む教育を目指し、教育現場と連携し、支える取組を進めると語るとともに、七十五周年の節目に、決意を新たにし、国民の期待と信頼に応える小学校教育の充実を期待すると述べた。

さらに、来賓を代表して、村井嘉浩全国知事会長と浜佳葉子全国都道府県教育長協議会会長が祝辞を述べた。特に、宮城県知事でもある村井全国知事会長は、東日本大震災からの復興に対するこれまでの継続的な支援について感謝するとともに、教育の諸課題の解決に向けた国への要望や提案を行うことを通して、ウェルビーイングの向上や社会の担い手となる子どもたちの教育の推進に向けた支援に取り組むと述べた。

そして、本記念式典では、



佐藤県小学校長会会長から受賞者へのお祝いの言葉

全国連合小学校長会の取組を通じた小学校教育の発展への尽力に対し、文部科学大臣感謝状が本県関係者七名を含む四七一名に、全国連合小学校長会長感謝状が本県関係者二十名を含む九〇三名に授与された。式典の開会に先立ち、本県関係受賞者として出席された方々へ、佐藤淳岩手県小学校長会会長からお祝いの言葉を贈らせていただいた。全国連合小学校長会七十五周年という大きな節目にあたり、先人や先輩校長から受け取った襷に込められた思いを実感するとともに、その重さに気持ちを新たにできる機会となった。

文部科学大臣 感謝状受賞者

〔公立〕

岩船敏行 菅波俊美
田面木茂樹 多田 茂
坂本行雄 澤藤耕平

〔私立〕

神山敦子

全国連合小学校長会会長 感謝状受賞者

〔常任理事〕

阿部修志 柳村 栄

紺野好弘

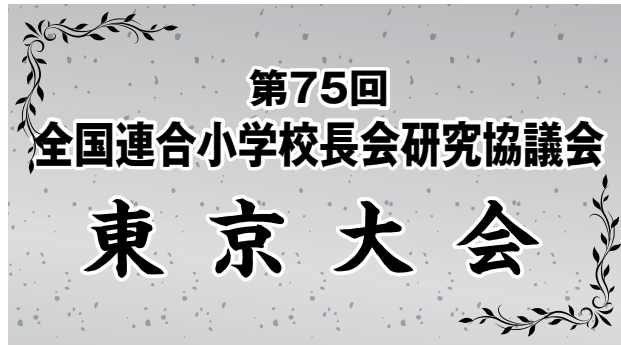
〔理事・監事・委員〕

太田代政男 千葉 茂
千葉仁一 岩田俊雄
新沼俊哉 阿部敬行
横沢幹雄 陳ヶ岡安雄
長谷川滋 多田英史
石川正明 外山 敏
佐藤 卓 太田勝浩
佐藤 淳 平澤勝郎
石亀智美
〔全連小・各都道府県事務局長・事務局員〕

(敬称略)



平川東京大会実行委員長挨拶



植村全国連合小学校長会会長挨拶

第七十五回全国連合小学校長会研究協議会東京大会が、前出の全国連合小学校長会七十五周年記念式典に引き続いて、十月十九日（木）・二十日（金）に、東京国際フォーラムを主会場に都内六か所で開催された。全国各地から二千名を超える小学校長が参加し、岩手からは二十九名が参加した。

開会行事において、植村洋司全国連合小学校長会会長は、四年ぶりにフルスベックの参加型による大会が開催できたことに感謝し、魅力ある学校づくりの実践者、経営者として、理念や指導法について究明するとともに、教育課題に資する充実した大会となることを期待すると語った。また、平川惣一東京大会実行委員長は、全ての学校において教職員のやる気と笑顔に包まれることが皆の願いであり、本大会の充実した学びによる校長の輪の広がりを期待すると述べた。

開会行事の後は、十三のテーマに分かれて分科会が開催された。実践を踏まえた研



分科会協議の様子（第11分科会）

究発表をもとに、熱心な研究協議が行われた。特に、本大会においては、グループごとに協議結果の重要な点をスマートフォンに入力した後、送信することを通して、テキストマイニングによりキーワードを可視化し、共通理解を図りながら、分科会全体のまとめにつながる手だてを用いて進められた。

二日目は、全体会の後、文部科学省主任視学官・宮崎浩志氏による講話が行われた。今後五年間の教育施策の方向性を示す新しい教育振興基本計画が策定され、持続可能な社会の創り手を担う教育やウェルビーイングの向上が求められており、教師が担う役

割が重要であると述べた。また、教師の資質能力の向上や人材の確保、働き方改革の推進、デジタル教材やICT活用による授業改善、いじめや不登校対策に向けた校内教育支援センターの活用など、現在の学校教育が抱える教育課題について具体的な資料をもとにした説明が行われた。

二日目の午後は、記念講演Ⅰ「三秒で心をつかむコミュニケーションシミュレーション」と題して関西学院大学総合政策学部・特別客員教授の小西美穂氏、記念講演Ⅱ「子どもたちが将来、いきいきと活躍するため必要なこと」と題してアース製薬株式会社・社外取締役のハロルド・ジョージ・メイ氏による講演が行われた。その後、記念講演を行った両氏がシンポジストとして登壇するとともに、株式会社HLD Lab・代表取締役社長兼CEOの岡田大士郎氏をコーディネーターに迎え、「これからの時代を担う子どもたちと関わる教師のウェルビーイング」をテーマにシンポジウムが行われた。リーダーとし

て、現場や部下職員との距離感を近づけるためのコミュニケーションの重要性や学びを楽しむつつわくわく感のあることを作り出すことの大切さ等、企業等の職種の異なる視点から学校経営につながる貴重な示唆をいただいた。

多様な視点から学びと交流を深めることができ、魅力ある学校づくりを目指し、新たな一歩を踏み出す大会となった。



実り多い大会となった閉会式の様子

令和 6 年度大会等のお知らせ

【令和 6 年度 第62回岩手県小学校長会定期総会】

- 1 期 日 令和 6 年 4 月 19 日 (金)
- 2 場 所 盛岡市都南文化会館 (キャラホール)
- 3 主 要 内容 感謝状贈呈 行政説明 被災地状況報告 総会 第 1 回理事会・評議員会合同会議
各部毎地区理事・担当者・専門委員合同会議

4 日 程

12:00	12:30	14:00	15:00	15:30	16:00
受付 役員選考委員会 大会宣言起草委員会	総会 1 開会 被災地報告 行政説明	総会 2 議長選出 報告・議事 新役員挨拶 閉会	第 1 回理事会・ 評議員合同会議	各部担当理事・地区事務局長・地区担当者・ 専門委員合同会議	

15:15

【第64回 東北連合小学校長会研究協議会 青森大会】

- 1 期 日 令和 6 年 7 月 4 日 (木)、5 日 (金)
- 2 場 所 弘前市民会館 他
- 3 主 題 「自ら未来を拓き とともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
- 4 副 主 題 「郷土に誇りをもち 未来を主体的に拓く たくましい子どもの育成を目指す学校経営と校長の在り方」

5 日 程

[7/4(木)]	12:00	13:00	14:10	15:45	16:20	17:00
	受付	開会行事・ 全体会	記念講演	閉会行事	分科会 打合せ	
[7/5(金)]	8:30	9:00	12:00			
	受付	分科会	閉会			

【第59回 岩手県小・中学校長研究大会 二戸大会】

- 1 期 日 令和 6 年 10 月 4 日 (金)
- 2 場 所 二戸市民文化会館 二戸市立福岡中学校
- 3 主 題 「未来を拓き 豊かな社会を創造する子どもを育てる岩手の教育」
- 4 日 程

9:45	10:15	10:50	11:50	13:15	15:35	15:45
受付	開会行事	全体研究発表 (小・中研究発表)	昼食 (移動)	分科会研究協議 (小・中別分科会)	閉会行事 (分科会毎)	

【第76回 全国連合小学校長会研究協議会 徳島大会】

- 1 期 日 令和 6 年 10 月 24 日 (木)、25 日 (金)
- 2 場 所 アスティとくしま 他
- 3 主 題 「自ら未来を拓き とともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
- 4 副 主 題 「夢と志を持って 多様な人々と協働しながら 持続可能で豊かな未来を切り拓いていく人財を育む学校経営の推進」

5 日 程

8:30	9:00	10:00	10:50	11:30	13:30	16:50
[10/24(木)]	受付	開会式	文部科学省 講話	全体会	昼食 移動	分科会
	8:30	9:00	9:30	11:40	12:00	
[10/25(金)]	受付	全体会	講 演	閉会式	教育視察研修	

地区校長会研究交流

「活力ある学校づくり」のための 研修の改善と充実を目指して

和賀地区校長会

一 組織と活動・役割

和賀地区は、令和五年度に北上市内の四つの小学校が一つに統合し、北上市内小学校十四校、中学校九校と、西和賀町の小学校二校、中学校二校の合わせて二十七校で構成されており、和賀地区校長会はその二十七校の校長によって組織されています。

和賀地区校長会では、小学校と中学校の連携を密にしなから、岩手県小・中学校長会の研究の趣旨及び研究の視点に基づき、未来を拓く児童生徒の育成のために「主体的に生きる力」を育む研究の推進にあたっています。また、その活動の推進にあたっては、国や県の動向をしっかりと受けとめ、そのねらいの実現に努めるとともに、地域の関係機関諸団体との連携を強化する

ことや「活力ある学校づくり」のための研修の改善と充実を図ることも重視しています。

二 活動の方針

① 社会の変化や地区内の課題に対応した学校経営に資する研修の充実に努める。

② 校長としての見識・力量を高め、教育課題の解決に努める。

③ 地区内校長会との連携を強化するとともに、会員の英知を結集し、組織活動の充実に努める。

④ 会員相互の親睦・交流を図り、連帯感を強める。

三 研修・研究の内容

① 学校経営上の諸問題並びに現職教育に関する研究

② 教育課程並びに教育諸条件に関する研究

③ 県研究主題に関する研究

④ 学力水準の維持向上並びに健全育成に関する研究

⑤ 校長の地位向上に関する調査・研究

四 研修・研究の方法等

【全体研修】

年二回（県大会のある年は年三回）開催し、一般研修、課題研修、連絡等を行う。一般研修として、教育を取り巻く情勢の変化や今日的課題に関する講話を実施する。

課題研修を推進するため、研究計画の確認、内容等の調整、研究発表、全体協議などを行う。

【班別研修】

地区校長会員二十七名が三班に分かれて研究にあたる。年三回（県大会の年は年二回）開催するが、必要に応じて特設研修会を設定する。

① 県（東北）課題研修
県（東北）のテーマに沿って各分科会の研究主題に取り組み。（三年計画が基本）

② 経営実践交流研修
班別研修会の中で、新教育課程への対応や学力向上、健全育成、学校内の人

材育成、働き方改革等に係る学校運営上の諸問題について実践交流や情報交換を行い、その解明に取り組む。

【調査研究】

行財政部による校長の地位向上に関する調査・研究を推進する。

【学校経営研修】

① 専門委員会をおき、学校経営上の諸問題並びに現職教育に関する研究・研修を推進する。

② 地区副校長会と連携を図り、中堅教員対象の研修を支援する。

五 研究班の構成

【小学校一班】八名

◇ 研究課題：自立と社会参加を図る教育の推進
「一人一人のキャリア発達のための体系的・系統的なキャリア教育の実践」
（令和八年度和賀大会発表）

【小学校二班】八名
◇ 研究課題：目指す学校づくりと組織・運営の活性化
「課題を明確にした学校経営の推進」
（令和六年度二戸大会発表）

◇ 研究課題：好ましい人間関係を築き、他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒会活動
「よりよい学校生活を築こうとする実践的態度を育てる生徒会活動」
（令和六年度二戸大会発表）

六 関係機関団体との連携

① 各種研究大会への参加

② 各関係機関団体との連携

七 研究紀要の発行
「地区校長会研究紀要」発行

八 結び

本会は、会員の英知と情熱を結集し、諸課題を解決するための研修を積極的に進めるとともに、組織としてもてやる機能を十分発揮できるように社会を創造したいと考えます。また、会員一丸となって和賀の児童生徒のもつ可能性を引き出し、自分の将来を自ら切り拓く力を育成できるような学校づくり、和賀の地に根ざし地域に信頼される活力ある学校づくりを目指しており、そのために今後も日々研修の改善と充実に努めてまいります。

（北上市立南小学校

石川 晃）

事務局日誌抄

(令和 5 年 10 月以降)

- 10月13日 東北連小第1回対策委員会(山形市・山形国際ホテル) 飯岡部長出席
東北連小第2回教育課程委員会(山形市・山形国際ホテル) 中村部長出席
- 18日 全連小第245回理事会(東京・東京會館) 佐藤会長、前川部長出席
全連小75周年記念祝賀会(東京・パレスホテル) 佐藤会長・前川部長・中村部長・紺野前会長出席
- 19日 全連小75周年記念式典(東京・国際フォーラム)
- 19~20日 第75回全国連合小学校長会研究協議会東京大会(東京・国際フォーラム) 参加者29名
- 24日 全連小人材育成委員会(東京・全連小事務局) 川村部長出席
- 30日 全連小三地区対策・調研担当者連絡協議会(東京・KKRホテル東京) 飯岡部長、中村部長出席
- 11月1日 第7回常任理事会(校長会事務局)
- 7日 全連小健全育成委員会(東京・全連小事務局) 飯岡部長出席
- 8日 岩手県教育委員会へ要望書提出
- 9日 「いわて教育の日」のつどい(トーサイクラシックホール岩手)
- 13日 全連小人材育成委員会(東京・全連小事務局) 川村部長出席
- 17日 第4回理事会・第2回評議員会合同会議(盛岡市上田公民館)
第2回東日本大震災対策特別委員会(盛岡市上田公民館)
- 20日 第4回行財政対策委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 24日 第3回広報・編集委員会(盛岡市勤労福祉会館)
全連小健全育成委員会(東京・全連小事務局) 飯岡部長出席
- 12月4日 第7回調査研究委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 7日 第5回行財政対策委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 14日 第4回広報・編集委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 15日 第8回常任理事会(校長会事務局)
- 18日 第8回調査研究委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 1月22日 第2回広報・編集部担当理事・地区担当者・専門委員合同会議(盛岡市勤労福祉会館)
- 26日 第2回総務部担当理事・地区事務局長合同会議(盛岡市勤労福祉会館)
- 29日 第2回研修部担当理事・地区研修担当者 第2回調査研究特別委員会・第9回調査研究委員会合同会議(盛岡市勤労福祉会館)
- 2月2日 東北連小第3回理事会・研修会(山形市・山形国際ホテル) 佐藤会長・和田副会長出席
- 5日 第9回常任理事会(校長会事務局)
- 9日 第2回行財政部担当理事・地区行財政担当者・対策委員合同会議(盛岡市勤労福祉会館)
第5回広報・編集委員会(盛岡市勤労福祉会館)
第5回生徒指導委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 15~16日 全連小第246回理事会(東京・KKRホテル東京) 佐藤会長、前川部長出席
- 22日 第5回理事会・第3回評議員会合同会議(盛岡市勤労福祉会館)
第3回東日本大震災対策特別委員会(盛岡市勤労福祉会館)
- 3月1日 岩手県小学校長会会計監査(盛岡市勤労福祉会館)
- 7日 第10回常任理事会(校長会事務局)
- 21日 第11回常任理事会(校長会事務局)

編集後記

この度の能登半島地震により、亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様方に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

被災地においては、不安を募らせながらの毎日を過ごされていることと思います。そのようなかたにあり、希望の光となっているのが、子どもたちの活動する姿であるという報道を耳にするたび、子どもたちの学びの保障に向けて尽力されている方々のご努力に頭が下がる思いです。一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

本県を襲った東日本大震災津波から十三年の月日が経とうとしています。本県においては、震災を知らない子どもたちが増える中、震災の教訓を伝えることの大切さを改めて実感しました。

県小学校長会では、継続的に沿岸被災地を訪問し、現状を把握しつつ、要望を取りまとめ、全連小や県教委等への要望活動を行っています。今後も、県小学校長会広報活動の柱の一つとして、「復興」を掲げて取り組んでいきたいと思えます。本年度一年間のご協力に感謝申し上げますとともに、一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

(担当 藤原 安生)